

**ピチピチアイドルが着替える
更衣室へワープして
ハーレムを楽しんだ男の話**

テレビに映る、舞台上で踊る水着のアイドル。

ピチピチのその素肌と、今にもきわどい水着からポロリとこぼれ落ちそうな元気なおっぱい。

「こんな子たちとエッチしてえなあ・・・」

テレビから目を離し、何もない天井に向かって俺は独り言を呟いた。

すると・・・！！！！

まるで壊れた液晶テレビのディスプレイのように、グニャッ・・・と天井が大きく歪んだではないか！！

夢！！??

いや違う。意識はしっかりとしている。

訳のわからぬまま、俺は吸い込まれるようにその歪みの中に入り込んでいった・・・。

「キャッ！！キャーーーー！」

甲高い悲鳴が仰向けで横になっていた俺の頭頂部の方から聞こえた。

飛び起きて俺は周囲を確認する。

すると、そこにはたくさんの若い下着姿の女性たちが・・・。

皆、揃いに揃って健康的な白い下着を穿いている。

「な・・・何！??」

皆が目を丸くして怪訝そうに俺の方を見ている。

しかし、もっと驚いているのはこの俺だ。

どうやら俺は、あまりに一人で妄想しすぎてとある女子更衣室にワープしてしまったようなのだ。

夢！！??

もう一度思ってみる。しかしやはりそんな感じはしない。確かな現実感があるのだ。

もっとも・・・目の前には可愛い下着姿の女の子。仮に夢であったとしても俺はこのまま見続けていたいとは思ったのだが・・・。

すると、女の子の一人が怖がる皆を説得するように口を開いた。

「この人、アキヒコ君じゃない??」

「えっ!?嘘!!??あ、ほんとだぁ!!」

確かに・・・俺の名前はアキヒコ。

しかしこんな若い女の子たちに嬉しそうな声で名前を呼ばれるほどモテてはいないしリア充ではないし有名でもない。もっとも、問題は俺がこの子たちを一人も知らないということ。

「すごおい!だけどアキヒコ君がどうしてこんなところにいるのお??」

相変わらずキャピキャピした甲高い声で、顔を見合わせて怪訝な気持ちを伝え合う女の子たち。

どうやら俺は訳の分からない不思議な異世界へ連れて行かれ、その世界でとても有名人になっているらしい。

しかしこの直後、さらに驚いたことが!!

それまでは一切顔の知らない女の子たちに囲まれていると思っていた俺だが、よく見ると、なんと奥にテレビでずっと応援していた大好きなアイドルグループのメンバーの女の子がいたのである。

ということは・・・やっぱり現実世界!!??

そして更に・・・。

その後、更衣室のドアを開けて次から次へと入ってきたのは、全員が見覚えのあるまさしく数十分前まで俺がテレビで応援していた人気アイドルグループのメンバーたちだ。

「えっ!!?キャッ!!ちょ、ちょっとお!!なんでアキヒコくんがこんなところにいるの!!??」

更衣室へ入ってきて俺の姿を見るやいなや、次々と驚きの声を上げるメンバーの女の子たち。

現実だけど現実じゃない。だって本当の現実なら人気アイドルが自分の存在を知っているはずはないのだから・・・。いつの間にか迷い込んだアイドル用の女子更衣室で、俺はただただ状況を把握できないまま困惑していた。

「アキヒコ君、だけどどうして裸・・・なの??」

あまりに状況が目まぐるしかったのでそちらばかりに意識が向いており俺は自分の身なりに意識がいていなかったが、俺は上半身はおろか下半身にも衣服という衣服を一つも身につけていなかった。要は素っ裸だったのだ。

“ヤバい！！”

そう思った俺だが、時、既に遅し・・・。

ということで・・・。

ビィーーーーーンツツ！！

下半身にはバネのようにそそり立ってビクンビクンと上下に震え、暴れまわっているペニス。

そしてその勃起ペニスは、女の子たち全員に見られながらも戻る術を持たなかった。

———体験版はここまでです———

—もし気に入っていただけましたら商品をご購入ください—